

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		コンビニ（経営者）	・ポイントを使っての買物が増えている。ポイントが倍になる商品や、週末にポイントが増えるという企画があるので、良くなっていく。
		旅行代理店（代表取締役）	・景気対策に関する経済効果などがよくマスコミで報道されているので、夏から秋にかけて消費は伸びる。ただし、客単価は値下げしているところが多いので、売上自体はあまり変わらない。
	変わらない	観光名所（職員）	・7、8月は沖縄各地で夏のイベントが実施され、また県外からの入域観光客も多くなり施設利用者は増加する。ただ、この時期は台風の発生も多く、県外からの入域観光客に頼る沖縄観光は、台風の沖縄へ及ぼす影響により大きく左右される。
		百貨店（営業担当）	・百貨店業界には家電業界のエコポイント制度や、自動車業界のエコ減税のような追い風的な取組も無く、景気の低迷で引締め感の強い消費支出の取り込みには引き続き苦戦する。
		コンビニ（エリア担当）	・天候により売上は左右されるが、必要な物だけしか買わないので、単価も前年と変わらない。タスポ効果も一巡したが、大きな来客数の変動も無くこの先も前年同様、無駄使いない購買パターンが続く。客単価が増える要素は無い。
		衣料品専門店（経営者）	・毎日の売上が良かったり悪かったりで波があり、全く読めずに分からないというのが正直なところである。不況の影響もあり、客もまず、趣向品やぜいたく品などからカットするので今は我慢の時期、次への準備期間と考え、毎日の営業に精を出している。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・出版業界はネットに比べて情報が遅く、さらに、沖縄は本土と比べて遅い。流通面の問題があるのだが、それを改善しない限りこの業界は厳しい。
		観光型ホテル（商品企画担当）	・7～8月の稼働率は、今月同様に前年比マイナス6～8%で推移する見込みである。
		ゴルフ場（経営者）	・希望的観測ではあるが、悪くなる状況にはない。ただし下がってしまった客単価を上げることについては、容易なことではないと、とらえている。
	やや悪くなる	コンビニ（経営者）	・たばこのタスポ効果が7月で一巡することで、たばこの売上が減少する。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・売場の縮小と人員整理等、更に努力する。大きく落ち込む感は無くなったが、景気は良くなる方向へ行く気配が感じられない。また、競争激化で利益率も悪化している。
		観光型ホテル（総支配人）	・沖縄観光の夏季繁忙期を控え、同期比で予約客数が10%減少している。経済状況の悪化、国政選挙を控えて旅行マインドは低調気味である。
		通信会社（店長）	・現在は新商品目当ての客はいるが、一時的なもので長くは続かない。必要時以外の買物に関してはシビアである。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	・これから夏場の観光シーズンに入るが、7～8月共に、観光客の予約状況は前年同期比10%減と厳しい状況となっている。
悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街のエリアは、衣料品や雑貨等を扱う店が減って、観光土産品店が多くなっている。また、観光客の飲食店も多くなって客割れを起こしている。新型インフルエンザの影響による入域観光客数自体の減少の影響もまた引き続き起こっており、大変危機的な状況である。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・6月は頭から毎日外商で金券を配っているのですが、後半少し持ち直しているが、週末集中で平日は相変わらず渋い。質を落とさずに経費節減に努力しているが限界に来ている。消費者は料理、ドリンク半額でも当たり前になって見向きもしない。現状、実質支払が千円台で飲んで食べて遊んで満足できる店を求めている。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		食料品製造業（管理部門）	・一部主原料と原油価格が下がり、円高状況が継続している。
	変わらない	会計事務所（所長）	・夏場にかけて、営業努力から観光客の客数が戻りつつある。しかしながら客単価の回復は現状では厳しい。
		窯業土石業（経営者）	・建築確認許可待ちに伴う工事の遅れ、製品出荷の鈍い動きが継続する。
	建設業（経営者）	・引き合い件数が横ばい状態である。	

		輸送業（営業担当）	・夏場に向け食品関連の荷動きは増えると予想されるが、需要の落ち込みがまだ回復しておらず前年割れになる見通しである。その他、建築関連は微増、外食系は前年並みである。
		輸送業（代表者）	・県内の一離島においては、現在の好調が持続される。
	やや悪くなる	通信業（営業担当）	・営業活動の方向性を見いだせない状況で実のある営業ができていない。
		広告代理店（営業担当）	・県内における広告業界の市場は、官公庁予算依存の状況が長期化しており、売上の主体となるべき民間企業の販促活動が低迷しているなか、基幹産業である観光業界の低迷や雇用問題を抱える状況を含めて考えると、景気の先行きは厳しい環境にある。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・これ以上求人数が減るとは言えない。どちらかという少し良い方向に向かう感じはするが、大きく増えるとも言えない。
		職業安定所（職員）	・目新しい短期・長期的な景気浮揚対策が無く、目先の安易な事業所誘致に奔走しており、雇用形態・賃金条件の劣悪な労働環境等、急進的労働力の吸収策を講じ悪循環を繰り返している。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・依然厳しい雇用環境の中、採用が増加する要素が見られず現状はそれほど好転しない。
	やや悪くなる	民間職業紹介所（人材紹介担当）	・今後、夏場に向けて忙しくなる観光関連でも前年同様とはいかない。観光産業が厳しいと納品業者など関わりのある業界はかなり影響を受ける。
		学校〔大学〕（就職担当）	・今後は景気低迷で企業の収益が悪化することが見込まれ、求人が減少する。
	悪くなる	-	-